

# 挑戦する心と相手を思う心

先日閉幕した東京オリンピックで私は選手たちから多くの感動とともに数々のスポーツマンシップが伝わる瞬間を味わいました。その中で特に印象に残ったことが二つあります。

まず一つは、挑戦する気持ちです。どの競技でも厳しい状況を乗り越えた選手たちが金メダルを目指して挑戦する姿に胸が熱くなりました。その選手たち

の中でも特に忘れられないのは、スケートボード女子パークに出場した、金メダル最有力と言われていた岡本選手です。岡本選手は最後のトリックで逆転をねらって大技に挑戦しました。しかし、結果は失敗に終わり、メダルに手が届きませんでした。大技に挑戦せず、銅メダルの3位をねらうこともできたと思いますが、彼女は最後まであきらめずに攻め続けました。そんな最後まで果敢に挑戦していた彼女の姿に胸を打たれました。

もう一つは、相手を思う気持ちです。先ほど紹介したスケートボード女子パーク決勝では、岡本選手が逆転をかけた大技に失敗して競技を終えた直後、ライバルたちが駆け寄り、抱き合いながら敗者の岡本選手を称えました。その彼女たちの多くは、10代の若者でした。柔道男子60キロ級決勝では試合後、優勝した高藤選手と相手の台湾の選手が手を取り合って互いの健闘を称え合いました。陸上男子走り高跳び決勝では、決着をつける「ジャンプオフ」をしないことを決め、2人の金メダリストが同時に誕生しました。バレーボール男子では、日本に敗れたイランの選手たちが試合後、拍手で勝者の日本を称えました。彼ら・彼女らに共通するのは、相手への尊敬の念、心の深い部分で結ばれたライバルとの連帯、相手の痛みへの共感です。



このオリンピック選手たちから感じた、挑戦する気持ちや相手を思う気持ちは、中学校でも大切なことだと改めて思いました。今日から2学期が始まります。活動は制限されますが、ぜひ挑戦する気持ちを持ちましょう。ちょっとしたことで構いません。失敗しても大丈夫です。そして、相手を思う気持ちを育てていきましょう。頑張っている友達を応援したり、元気がない友達とは心の痛みを分かち合えたりしたらいいですね。